

令和2年12月
第7回清水町議会定例会一般質問事項

質 問 者	質 問 事 項	
議 席 氏 名		
12	高橋政悦	<p>1 学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実について</p> <p>今年度、一人1台端末と高速大容量の通信ネットワーク整備について、すでに予算付けされ、12月には教育ICT環境が整う予定であるとの報告を受けているが、現在の状況及び配布基準、管理の仕方、更新年月、破損時の対応策等について問う。</p> <p>また、文部科学省は「GIGAスクール構想」の中で、新学習指導要領の情報教育・ICT活用教育関係のポイントとして、小学校は2020年度、中学校は2021年度全面実施となっているが、本町におけるスケジュールについてどのような計画になっているか問う。</p> <p>更に、教員のICT（情報通信技術）指導力は十分なのか否か、小学校プログラミング教育必修化に伴うカリキュラム、通常授業でのICT活用方法など、「学びの深化」、「学びの転換」を達成するためのステップをどのように考えているのか、新型コロナウイルス、インフルエンザ等で学級閉鎖となったり、災害等により休校となってしまった場合のオンライン学習システムの構築についてはどのように考えているか問う。</p> <p>2 事業執行状況とリスクマネジメントについて</p> <p>現在も新型コロナウイルスの影響で、本来執行すべき事業に支障をきたしているばかりでなく、東京をはじめ北海道、神奈川、大阪などでは終息どころか感染拡大により、各自治体は感染対策に追われ、予算的にもコロナに対する多くの補正予算を組まざるを得ない状況であると承知している。</p> <p>そんな現況を踏まえ、本町が策定した令和2年度事業の中で今年度の執行が難しくなった事業について問う。</p> <p>また、町長にあってはコロナ禍の中、東京では警戒レベルが3から4（最高レベル）に上がった11月に2度も関東圏へ出張されており、リスクを顧みず、事業執行にまい進されたことについて、評価すべきことなのかどうか、町長のリスクマネジメントに対する考えを問う。</p>

質 議	問 席	者 氏	事 問	項 名
6	佐藤幸一	<p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>(1) 同ウイルスに対する町長の認識について伺う。</p> <p>(2) 全国的に新型コロナウイルス感染者が増加しているこの時期に、さいたま市で物産展を開催した理由を問う。</p> <p>(3) 役場職員の感染はいつ何時にどこで知り、それからどのような対応をしたのか。</p> <p>(4) 役場職員の感染に関する町民への情報提供が遅く、多くの町民が不安を抱いたと思うが見解を問う。</p> <p>(5) 保育所、幼稚園、学校などの職員や教員の定期的なPCR検査を行う考えはないか。</p> <p>(6) 町民のPCR検査費用を助成する考えはないか。</p> <p>2 しみず温泉フロイデの不法看板の撤去について</p> <p>9月議会の決算審査において、不法看板の撤去について法的措置を講じるとの答弁があったが、現在の進捗状況について伺う。</p>		

質 議	問 席	者 氏	事 名	項
8	口 田 邦 男	1	新型コロナクラスターによる風評被害と町民に対しての影響	<p>残念ながら、このたび、役場でクラスターが発生した。誠にあってはならない場所での出来事である。役場は町の心臓部であり、職員だけの問題ではなく、町の機能がマヒし、町民に大きな影響を与えることになってしまった。</p> <p>まだ完全に終息したわけではないが、現時点での風評被害と町民に対しての影響をどう捉えているのか。</p> <p>まずは、役場の機能回復を第一に、町民に対し信頼回復をどう進めていくのか、町長の考えを伺う。</p> <p>2 井戸水の水質検査の進捗状況と今後</p> <p>水質汚染は御影の農家の井戸から水質基準の7倍の亜硝酸態窒素が検出されたのが始まりで、連日のように新聞報道があり、地下水を利用している者は非常に不安な毎日を過ごしていた。</p> <p>しかしながら町からの情報はなく、住民の不安が増したことはまぎれもない事実である。</p> <p>そうした中、希望する方全員の井戸について水質検査を行っているが、現在の進捗状況と今後について伺う。</p> <p>(1) 住民に対して、もう少し早い時期に情報を発信することはできなかったのか。</p> <p>(2) 水質検査にあたり道との関わりはどうなっているのか。</p> <p>(3) 基準超えの井戸に対する浄水器の対応は。</p> <p>(4) 環境省によると、現時点での汚染の要因は、過剰な施肥、家畜排せつ物の不適正処理などが要因として考えられるとのことだがいかがか。</p> <p>(4) 公共施設の水質は大丈夫か。</p> <p>(5) 原因究明はどこまで行うのか。</p>

質 議	問 席	者 氏	質 問 事 項
		<p>3 ハポネタイへの協力とは</p> <p>ハポネタイはアイヌ語で「母なる森」の意味。2006年、アイヌであることを喜び、表現する場として旭山の森を購入。この森を名づけた。</p> <p>しかし、体調不良となり、2013年を最後に活動を休止している。森の売却も検討したとのこと。しかし、清水町から今後の活動に協力する旨の申し出があったことで、再開を決めたとのこと。</p> <p>アイヌ文化に対する協力は大事なことであると思うが、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) ハポネタイの活動とは。</p> <p>(2) 活動に対する協力を申し出たとのことであるが、その協力内容は。</p>	

質 議	問 席	者 氏	事 名	項
4	中河つる子	1 保育士に慰労金を	<p>新型コロナウイルス感染症拡大のもと、感染症防止や、直接検査や治療に携わる医療・介護従事者に対し、9月の議会後に慰労金が支給された。大変良かったと思う。</p> <p>保育所や学童保育所で働く保育士達は、学校が一斉休校となる中、危機的な状況下で、子育てをしながら働く看護師や介護従事者をはじめ、働く人たちの子どもを受け入れ、社会生活の維持と生命を守る人たちのために保育を続けてきた。</p> <p>保育士達は子どもとのスキンシップや言葉かけが不可欠である。マスク着用やソーシャルディスタンスの確保が難しい中、医療や介護従事者と同様に不要不急の外出を控え、かつ多大なる負担感やストレスと闘いながら、懸命に子どもの保育に従事してきた。</p> <p>医療、介護従事者と同様に慰労金を支給して、その労に報いてあげるべきではないかと考えるがいかがか。</p>	

質 議	問 席	者 氏	事 項
2	川上	均	<p>1 役場における新型コロナクラスター発生の責任の所在と今後の対応</p> <p>今回、役場の新型コロナクラスター発生の結果、町民に大きな不安と損害、飲食業を中心に消費の落ち込みと農畜産物も含め多くの風評被害をもたらした。</p> <p>9月の一般質問で、今後のコロナ対策について7つの質問をしたが、結果的にそれを生かすことができなかつたことは非常に残念であり、教訓として今後生かしてもらいたく、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 町民の命と健康を守ることが町としての一番の使命と考える。今回、特に命に直接係わる高齢者施設、医療現場等での感染拡大が懸念され、施設や病院でも大変腐心されたと聞いている。上士幌町や足寄町でもPCR検査に町が助成することを決定した今、町費による行政検査以外の検査の拡大についてなぜできないのか、予算の関係かそれ以外何か理由があるのか町長の考えを伺う。</p> <p>(2) 無症状感染者の自宅療養は、かねてから家庭内感染が強く危惧されていた。家庭内感染は家庭に止まらず、保育所や学校または職場への感染拡大を招く要因にもなる。農業研修会館を軽症者用施設として活用し、家庭内感染を防止することについて再度町長の考えを伺う。</p> <p>(3) 清水町新型インフルエンザ等対応業務継続計画、いわゆる「BCP（事業持続化計画）」が10月に策定されているが、今回どのように活用されたか、今後の課題は何か伺う。</p> <p>(4) 今回のクラスター化は町の対応が不適切で、町民からは人災と言われている。ここまで拡大した原因及び町長の責任の所在について考えを伺う。</p> <p>(5) 町の緊急支援事業給付金（年末給付金）の算定表で、上限50万円と100万円の差がありすぎるとの声を多数聞いている。もっと事業者の声を聞き、この差を埋める細やかな対応ができないか町長の考えを伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
		<p>(6) コロナ禍により世帯収入が減少、またはアルバイト収入が減り就学の継続が困難な大学生の世帯に対し、町として一時金等を支給できないか伺う。</p> <p>2 地元の食材を使用しない保育所給食の委託は直ちに直すべき</p> <p>令和2年度から始まった新保育所及び御影こども園の給食委託では、新鮮でおいしい、安心・安全の地場産食材が使用されず、大部分が外国産冷凍食材であると聞いている。</p> <p>町の未来を担う子どもたちが、新鮮な四季折々の恵みを食することは、「食育」を考える上でも大変重要である。</p> <p>今後、この給食をどのように改善し、充実していくのか、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 食材の大部分が外国産、特に中国産冷凍食材であると聞いているが確かか。町長は承知しているのか。現状をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 給食業務委託仕様書では、本町における国内での食料生産拠点の自負に定めるため、「町内で生産される農畜産物の積極的使用をはじめ、食材の購入については町内で納入実績のある者から概ね50%を購入すること」を遵守事項としているが、現状では約何%調達されているのか。そして今後、この仕様書どおり50%購入することが可能なのか。</p> <p>(3) 町長は「食育」をどう考え、現状をどう捉えているのか。</p> <p>(4) 委託費が5,600万円、これは直営時と比較し1,200万円アップしているが、費用対効果をどう考えているのか。</p> <p>(5) 調査の状況から今後、仕様書にある地元購入50%調達は非常に困難であると言わざるを得ない。これは明確な契約違反ではないか。この契約違反を放置するのか。保護者の給食に対する不安をできる限り払拭し、かつ費用対効果にも反する今回の給食委託を直ちに直すべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p>

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
5	鈴木孝寿	<p>1 保育所・こども園の給食提供の考え方について</p> <p>本年4月から始まった保育所等の給食事業の外部委託は、当初より見切り発車的な要素が多々見られ、併せてコロナウイルス感染症の影響から、保護者に対して提供給食の中身の説明もなくこれまで経過している。</p> <p>今後の事業の継続性の是非を含め、安全な食材を提供する上での給食事業について伺う。</p> <p>2 コロナウイルス感染症の役場クラスター発生に伴う発生源としての責任について</p> <p>なぜここまで拡大したのか。日頃からどのような対策を取っていたのか。住民生活に多大な影響を与えたことをどのように考えているのか。多くの町民を恐怖に陥れたクラスター発生事案は、国内初の自治体クラスターの恥ずべき事案である。</p> <p>近隣市町村や町内事業所に比べても、職員の健康管理や感染症対策の対処・整備も非常に少なく、危機意識が欠如していたことは明確である。また、11月以降感染症拡大の厳戒態勢下においても、毎週のように東京・埼玉などの出張を繰り返す状況を見て、その危機意識の欠落からなるべくしてなったクラスターと強く指摘する。</p> <p>町民の安全と安心を守る役割が、現実として崩れ、さらに経済状況も最悪へと導いた責任は重大である。</p> <p>町民に対する謝罪が今もない状況で、町長としてどのような自覚を持って町政を担っているのか伺う。</p>	

質 議	問 席	者 氏	事 名	項
9	中島里司	1	<p>コロナによって町民の安心・安全なまちづくりが一時的とはいえ崩れた。今後の対応は。</p> <p>本年2月から庁舎内に新型コロナウイルス感染対策本部を設置していたのと思うと残念である。</p> <p>道などが発表している情報を共有していただけで、対応について協議されていなかったのではないか。</p> <p>今年度の流行語大賞は「3密」に決まった。</p> <p>当町ではあまり意識することはないかもしれないが、「3密」になるところは避けて行動することが当たり前だと思う。町長はその意識を持って行動していたか。</p> <p>安心・安全な町として今後どのように町民に説明し理解を求めるか。職場内の人間関係に差別がないようにするために町長としての決意を伺う。</p>	2
			<p>通学路の街灯</p>	
			<p>街灯も年数が経つと照度に影響が出てくるのか。</p>	
			<p>日没が早くなっている。部活で遅くなった生徒の帰宅する姿が見られるが、安全は確保されているか。</p>	